

梨の花

市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木1-14-1 Tel 376-5961

<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>



ルフィの仲間力

校長 清田 博之

1日のオンラインで実施した「夏休み明けの会」で、子どもたちに次のように話をしました。

「友達のことを大事に思うなら、今は友達とくっつかないで距離をとりましょう。」

「仲間との絆の力の大切さ」を説くべき教師、ましてや校長がなんてことを言うんだ…と、少し自分で話をしたことに悲しくなりました。でも、命を守る為に必要なことだったと信じています。さて、そんなこともあり今回は、最近読んだ本の中で「仲間づくり」について考えさせてくれる『ルフィの仲間力』（安田 雪 作）を紹介したいと思います。「ルフィ」とはご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、人気マンガ「ワンピース」の主人公の海賊です。

そのプロローグには、こう書かれています。

「仲間集めを目的にしても、仲間は集まらない。」

では、仲間を集めるために何が必要なのでしょう。安田さんは、ルフィに仲間ができたのは、「オレは海賊王になる」という彼の夢に魅了されたからだと言います。そして、「仲間とは、一人では到底かなえられない夢を共有する人たち」だとしています。だから、仲間を集めるためには、仲間を集めて何がしたいのかを明確にしなければいけないと指摘しています。

学校におけるクラスメイトは、偶然出会った集団で、仲間ではありません。新年度には、みんなで向かうべき夢（目標）をつくり、互いに助け合い、信頼を築き、一緒に成長していくことを通して、仲間になっていきます。教員の役割は、その過程と伴走し、支えることです。そしてこの体験こそ、子どもたちが成人してから最も必要な「人とつながる力」を育てることに結びついていきます。

「うちの子は夢なんてもてるだろうか」

保護者のみなさんからは、そんな声をお聞きすることがあります。でも心配はいりません。まずは、自分が好きなこと、やってみたいことから始めたらいいんです。お家の方はお子さんと一緒に楽しくしてください。今は東京海洋大学の准教授になっている「さかなクン」のお母さんは、息子と毎週、水族館に行き、気のすむまで眺めていなさいと見守っていたと言います。とことん海洋生物にのめり込み、楽しそうに魚の生態を語る「さかなクン」。そんな彼のもとには、人が集まってきます。力を貸してくれる大人も出てきます。そして彼の夢は、後に続く多くの子どもたちに影響を与えています。

ルフィと麦わら一味のように、互いの絆を深めながら夢にすすんでいく人に育ってほしい。そのためには夢をもち、それを共有する仲間を集めることだとは何よりも大事です。

ルフィたちが仲間にする基準としていることを最後に記しておきます。

「自分より弱い他者を大事にできる人かどうか」です。



緊急事態中の学校生活について

緊急事態宣言中は、今まで実施してきた感染防止対策に加えて、さらに以下のような措置をとります。

- ・換気をよくするために、教室の前後の扉は常時、全開にする。
- ・体育学習時もマスク着用を原則とするが、子どもが「運動の量や内容、気候など状況に応じてマスクを着脱する判断」ができるよう指導をする。低学年や子どもが活動に夢中になりマスクを外さないことで危険な状態にならないように、教職員は、子どもの活動時の様子に気を配りマスクの着脱について細かく指示を行う。
- ・音楽の学習では、歌唱指導や鍵盤ハーモニカやリコーダーの指導は行わない。
(緊急事態宣言が延長になった場合や解除された場合ー9月12日以降ーの学習では、音楽室に「歌唱や楽器演奏用の仕切り」を設置し、半分の人数を20分間ずつ指導をする。残りの半数は、教室で音楽用の自習課題に取り組む予定。)
- ・国語の一斉音読は控える。英語学習の発音指導は小声で行う。
- ・昇降口や図書室、音楽室の出入り口にアルコール消毒液を設置する。
- ・清掃時に、教室や廊下の床を「拭き掃除」することは控える。
- ・トイレ清掃は、子どもにはやらせない。
- ・職員が通勤時に感染する危険を低減するために、自家用車の校地内駐車を認める。

タブレットが配付されました

4～6年生に1人1台タブレットが配付され、さっそくアカウントの登録や使い方の指導を行いました。急な学級閉鎖にも対応できるよう「ドリル機能」が使えるようにしたり、オンライン学習（teamsを使います）ができるように準備を進めています。タブレットは、教室の大型提示装置（テレビ）とリンクすることができ、より日ごろの学習にもダイナミックな活用ができそうです。



児童アンケートの結果から

7月末に実施した児童アンケートの結果について、近日中に学校HPにアップしますので、ご覧いただければと思います。私が特に気になったのは、「睡眠時間」と「メディアに触れる時間」の2点です。どちらも、ご家庭の協力なしには改善されないものです。アップされましたら、ぜひご覧ください。